

# (財)赤岩公德体財団便り

## 赤岩公德体財団理事長ご挨拶



理事長: 赤岩達重

ワールドカップサッカーにおける日本チームの活躍は政治経済の停滞や異常気象による不順な天候に喘ぐ日本にあって一服の清涼剤にも勝るすがすがしさを与えてくれるものでした。また、出場選手のほとんどが外国のチームでプレーした経験を持ち、その為か少しも臆することなく戦う姿は国際化の証でもあり非常に頼もしく感じられました。

世界経済は特に中国の驚異的な発展ばかりが喧伝されています。今や中国は冷蔵庫・テレビ・洗濯機・デスクトップ型パソコン・オートバイなどでは世界の生産国であり、ITにおいても先進国を窺っています。若年労働力の豊富さと外国留学や企業にいる優秀な中国人が多数帰国し、多くの最先端の技術を持ち帰ることにより技術開発力も飛躍的に上がっています。日本経済が中国経済に飲み込まれる日が来るかも知れないと危惧さえ覚える次第です。

また昨今の国内における少年犯罪の増加や親による幼児虐待などのニュースを聞くたびに家族の絆や生命に対する畏敬の念が薄れていることを非常に無念に思っております。

こうしたなかであって当公德体財団はスポーツを手段とした人間形成を目指す日本スポーツ少年団の趣旨に賛同し陰ながら応援をさせていただいて早や3年目となりました。

今年の一月には女子マラソンの有森裕子さんお迎えし、「よろこびを力に」と題して講演会を開催し多数のご参加を頂きました。エリートランナーとして華やかな道を歩かれたものと想像しておりましたが、身体的なハンデをお持ちになり学生時代には目立った実績も無く、あきらめずに一生懸命続けてオリンピックでの大きな栄冠を得られたお話には驚きとともに非常に感動を覚えました。お聴きいただいた皆様にも励みになったのではないかと存じます。

また、微力ながら今年も新たに10チームのスポーツ少年団に助成させていただくことができました。



スポーツを通じて他者や地域と積極的に関わり徳育を磨き、自ら学び自ら考える「世界に通用する」青少年、言わば「未来を拓く主体性のある日本人」を育成するという理念の基に新たに川上健二氏(岡山技研工業社長)と谷口正明氏(和気町地域審議官)をお迎えし、理事・評議員一同の英知を賜り、なお一層活動の幅を拡げてまいりたいと考えております。

### 今年(平成22年度)の事業

#### 1. スポーツ少年団への助成事業

助成対象: 10団体  
助成金額: 1団体あたり10万円以内

#### 2. メイトカップの後援

主催: 佐伯ソフトボールスポーツ少年団  
後援: (財)赤岩公德体財団  
日程: 2010年7月~8月中実施予定  
場所: 和気総合グラウンド

#### 3. 平成22年度第3回記念講演会

日程: 平成23年2月13日(日)  
場所: 学び館「サエスタ」(和気町父井原)  
講師: 宇津木妙子先生(元日本女子ソフトボール監督)



昨年のメイトカップの様子

### 前年(平成21年度)の主な活動報告

#### 平成21年5月9日

第3回理事会・評議会開催

#### 平成21年5月21日

10団体に21年度助成金授与

#### 平成22年1月11日

第4回理事会・評議会開催

#### 平成22年1月11日

平成21年度 第二回特別記念講演会 開催

講師: 有森 裕子 先生

演題: よろこびを力に



### — 赤岩公德体財団新役員のご紹介 —

#### 理事



氏名 川上 健二

職業 会社役員

年齢 56歳

経歴

S48年 岡山技研工業(株)創業  
H8年 同社代表取締役就任  
和気商工会副会長、  
瀬戸法人会副会長

#### 評議員



氏名 谷口 正明

職業 地方公務員

年齢 59歳

経歴

S47年 旧佐伯町勤務  
H18年 和気町産業建設部長  
地域審議官

#### 【変更】

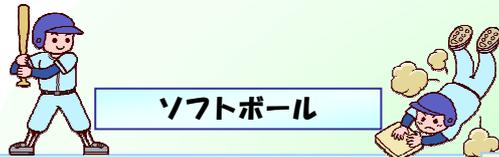
○玉谷監事→評議員へ

#### 【辞任】

○浦上理事  
○我妻理事  
○安本評議員  
○田村評議員

## 今年(2010年度) 助成金 採択団体のご紹介

平成22年度の活動助成金を公募したところ、県内から24団体の申し込みをいただきました。提出いただいた活動状況報告書などから審査・討議し、以下の10団体を採択させていただきましたので、ご紹介致します。



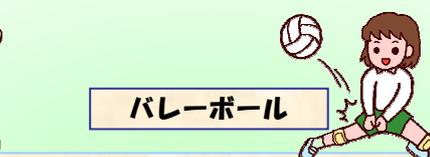
### ソフトボール

赤坂スポーツ少年団 [赤磐市]		
19名	70試合 (18試合・52試合)	
土・日	3時間	90%

佐伯ソフトボールスポーツ少年団 [和気町]		
17名	100試合 (30試合・70試合)	
火・木・土・日	3.5時間	100%

吉永ソフトボールスポーツ少年団 [備前市]		
35名	60試合 (10試合・50試合)	
木・土	2.5~4.5時間	100%

瀬戸内呂久ソフトボールスポーツ少年団 [瀬戸内市]		
23名	28試合 (2試合・26試合)	
土・日	3時間	90%



### バレーボール

日生バレーボールスポーツ少年団 [備前市]		
10名	18試合 (2試合・16試合)	
水・木・土	3時間	99%

佐伯バレーボールスポーツ少年団 [和気町]		
8名	20試合 (5試合・15試合)	
月・水・金	2時間	100%

香登バレーボール少年団 [備前市]		
14名	31試合 (11試合・20試合)	
火・金・土	3時間	100%

横井スポーツ少年団バレー部 [岡山市]		
29名	25試合 (10試合・15試合)	
火・木・土・日	4時間	100%

### <ご紹介内容>

団体名 [住所]		
児童数	年間試合数(練習試合数・大会での試合数)	
練習曜日	1回の練習時間	練習の参加率

### 剣道



寒河剣道スポーツ少年団 [備前市]		
21名	24試合 (4試合・20試合)	
火・金・土	2時間	80%



### 軟式野球

長船フレンズ軟式野球スポーツ少年団 [瀬戸内市]		
23名	73試合 (48試合・25試合)	
土・日	4時間	100%

## 前年(2009年度) 助成団体の活動報告

### 《平成21年度の助成団体》

- 邑久バレースポーツ少年団    ○ 本荘バレースポーツ少年団    ○ 和気武道館和気剣道スポーツ少年団
- 伊里軟式野球スポーツ少年団    ○ 邑久ミニバスケットボールスポーツ少年団    ○ 倉敷連島スポーツ少年団
- ドルフィンスポーツ少年団    ○ 行幸スポーツ少年団    ○ 石井ソフトボールスポーツ少年団    ○ 石生スポーツ少年団

### ～スポーツ以外で重視していることの今年度評価～

10団体にスポーツ以外で重視していることについての点数付けを10点満点で行って頂き、それを平均して表したのが右の図です。

21年度の初めと終わりでそれぞれ評価をして頂いたところ、

- ・挨拶すること    ・目上の人への態度、言葉遣い
- ・運動用具を大切に    ・片付けをきちんとする
- ・自信、目標を持たせる    ・自分で考えられるようにする
- ・生きる力を養う    等の評点が上昇していました。

### ～練習・試合の状況～

10団団体の平均練習日数は週3回、参加率も93%と活発に活動されていました。

試合数も、競技により多い・少ないはありますが、毎月のように試合をされていました。これからも日々鍛錬を積み重ね、スポーツを通じて子ども達の可能性を広げていただきたいと思います。

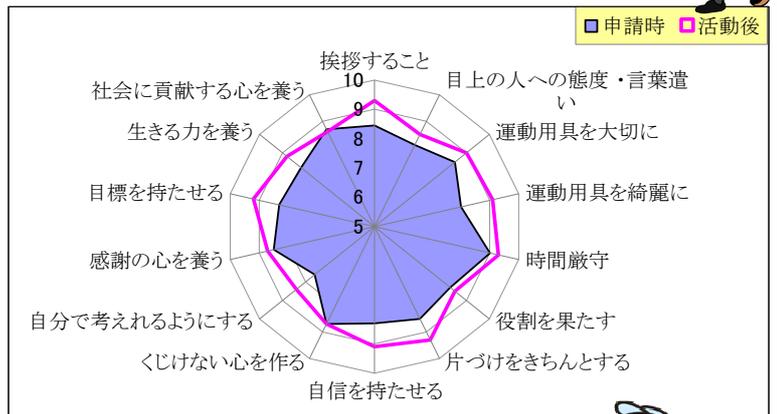
### ～練習・試合以外の活動～

- 遊歩道のゴミ拾い    ○ 町体育館周辺のゴミ拾い    ○ 廃品回収    ○ 草刈り    ○ 花火大会後の清掃活動 etc.

### お礼のお手紙を頂きました!

邑久バレースポーツ少年団様より  
この度は活動助成金をいただき、ありがとうございました。年々、団員も少なく、活動資金に悩む我が団が昨年と同様年間25試合に参加でき、25周年記念大会を開催することができました。これも助成金のお陰と感謝し、益々の子ども達の健全育成に励みたいと思います。

本荘バレーボールスポーツ少年団様より  
この度は助成金の交付、誠にありがとうございました。子供達にもしっかりと理念を伝え、この厳しい時代を自らの力で乗り越えていけるよう、スポ少活動を通じて少しでも人となりの土台作りが出来たらと思いました。これからも利用させて頂いたことに感謝の気持ちを忘れず、日々コートの中で子供たちに多くの経験を成長の糧にしていけるよう、指導者、保護者ともに頑張っていこうと思います。



# 赤岩公德体財団が目指す人づくり

## 理 念

徳育・知育・体育の成長を図るため、スポーツ活動を通じて、世界に通用する豊かな人格の涵養と自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与し、誇りを持てる青少年を育成する指導者を養成する。



## 自立する青少年

助け合う・学び合う・鍛え合う

### 知 育

自らの可能性を信じ、知識・技術の練磨に努め自分を高める努力を重ねる。



### 徳 育

個性を尊重して、社会的規範、感動する心、思いやりや感謝の心など豊かな人間性を身につける。



### 体 育

スポーツを通じて他者と協調し心身の健全な育成につとめ共に生きる。



## 5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします
2. 思いやりと感謝の心を持ちます
3. 率先して、目標に向かって常に努力します
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します



## 宇津木 妙子さん による講演会が決定しました！

元ソフトボール女子日本代表監督である宇津木妙子さんによる講演会の開催が以下の日程で決定しました。

**日程**：2011年2月13日(日)

**場所**：学び館「サエスタ」(住所)：和気町父井原430 TEL：0869-88-9110



### 『宇津木魂』女子ソフトはなぜ金メダルを獲れたのか

努力は裏切らない！ー合言葉は「努力・根性・金メダル」

- ノートをつくり、徹底した個人分析
- 合宿で「チーム意識」を高める
- その場で叱る
- 監督は全権を掌握する
- 試合では選手を神事、任せ、待つ
- 指導者が一番努力する
- 指導者は矛盾するもの・・・「結果を出せる」指導哲学を全公開！

### 《宇津木妙子さんの経歴》

- 1965年 中学校1年時からソフトボールを始める。
- 1971年 三塁手として星野女子高等学校を経て日本ソフトボールリーグ女子1部のユニチカ垂井に所属。
- 1974年 世界選手権出場。
- 1985年 現役引退後、ジュニア日本代表コーチを経てソフトボールリーグの日立高崎の監督に就任、全日本総合選手権5回優勝、日本リーグ3回優勝。
- 1997年 日本代表監督に就任。
- 1998年 世界選手権で銅メダル獲得。
- 2000年 シドニーオリンピック銀メダル。
- 2004年 アテネオリンピック銅メダル。同年9月、日本代表監督退任。
- 2005年 国際ソフトボール連盟殿堂入り。日本人で初の栄誉となる。



(財)赤岩公德体財団便りについて

発行 者：(財)赤岩公德体財団事務局

住所：〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL：0869-88-0243 担当：入江・竹山

発行：年2回

ご意見・ご感想等ございましたら、こちらまでご連絡をお願い致します。

